

平成26年度 第2回学校関係者評価委員会
兼 信頼される学校づくりのための委員会

◎日 時 平成26年11月19日(水) 15:50～16:50

◎会 場 総合学館2階 C24教室

◎参加者 評価委員・校長・教頭・事務長・4部主任・学年主任・学校評価係

◎会 順

15:50～開会のことば

15:50～校長あいさつ

15:55～第1回学校関係者評価委員会報告

16:00～平成26年度中間評価について

16:15～信頼できる学校づくりに向けて(意見交換)

◎質疑・意見交換(まとめ)

- 1 共通評価項目5について(生徒は、授業や学習に一生懸命取り組んでいる。)
 - ・2(あまりそう思わない)の割合が33.3%となっており、その理由として提出物の不十分さ、「考える」ことに意欲的でない生徒の存在、授業をもっと向上心をもって受けてほしい、などの意見が各主任からでた。授業の中でIce Breakを取り入れるなど、生徒の意識を変える工夫をしてみてもどうか。やる気のない生徒に対して達成感を持たせる授業の工夫や声掛けをしてみてもどうかというアドバイスが評価委員会からあった。
 - ・提出物の出させ方や、宅習時間データの取り方はどうしているのか。
- 2 共通評価項目2, 7について(進路について考える機会・進路実現)
 - ・ともに評価が高いのは「産業社会と人間」の授業で進路について考える時間が多く確保できている、また3年生に対しては受験時期が生徒で違うため、個別対応する時間が十分に確保できている、ということだが、生徒と親が進路について普段から会話ができるように、親に対してもっと声掛けをしてもいいと思う。
- 3 学校評価アンケートについて
 - ・保護者へのアンケートの20項目は、まずアンケート自体の回収率をしっかりと上げていくべきである。(昨年度7割なので、まずは9割を目指して)
- 4 各学年に対して
 - ・1年生の様子は中3生に一番影響がある。1年生が楽しく、しっかりとした服装で過ごしていれば中学生に対してプラス効果が生まれると思う。
 - ・2年生は3年生になる前の準備期間となるので、しっかりさせてほしい。
 - ・3年生は残りの高校生活を大切にしてほしい。3学年の評価項目①(けじめのある高校生活)の2の評価が28.6%なのが残念。4の評価になるようにしてほしい。
 - ・保護者の協力を学校側からお願いした。

16:50～閉会のことば